

2025年9月4日

燃料電池タクシーを本格導入、9月3日より稼働開始、 環境に優しくラグジュアリーな空間を皆さまにお届けします

国際自動車株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：石井 仁）は、2025年9月3日より、トヨタ「クラウンFCEV」を用いた当社初の燃料電池タクシー（以下、水素タクシー）の運行を開始しました。当社の環境への取り組みの一環として、次世代モビリティの社会実装に向けた大きな一歩となります。



今回導入するクラウンFCEVのタクシー車両は、東京都の「TOKYO H2」プロジェクト仕様で、水素を想起させる青を基調とした専用デザインを採用しています。加えて当社独自の工夫として、ミラー上部および行灯を青色に仕様変更し、街中でもひと目で「水素タクシー」と分かる視認性と話題性を両立しました。2025年内に20台体制を目標とし、段階的に配備を拡大していきます。



当社の水素タクシーは、都内各所を巡りながら、その魅力と利便性を広く発信してまいります。新しいラグジュアリーな車両を通じて、皆さまに快適で環境に優しい移動手段を提供いたします。皆さまのご乗車を心よりお待ちしております。

本プレスリリースに関するお問合せ先
国際自動車株式会社
総合計画部 コーポレートコミュニケーション課
TEL:03-6277-7272 MAIL:pr@km-group.jp